



よみがえれ 江戸城

挑戦 — 二つの課題に新たな視点を —

この度、理事長に就任いたしました浅田豊久でございます。
理事会を代表して会員及び市民の皆様にご挨拶を申し上げます。

壮大なロマンであり前人未踏の江戸城再生という難題に対し、小竹会長をはじめ会員並びに関係者みな様が長年、築いてこられた運動へのご尽力及びご支援に対し、心より、敬意を表します。

昨年、小竹会長(前理事長)をはじめ皆様から、代表者へのご推薦を戴き、身の引き締まる思いを抱きました。何のバックもない市民運動から始まった江戸城再生の志を未来に向けた時、これまで築いてきた運動の成果を継承し、さらなる目標の達成に向かうことの重要性に対し、我が身の非力を自覚しつつも、もてる力を振り絞り、理事長の重責を判断した次第でございます。

さて、振り返り、これまでに、東京全体を俯瞰した歴史的文化的戦略はあるか？についての、所見を申し上げたいと存じます。「明治初動期以降、都市東京の都市計画における歴史的文化的戦略等は無いに等しい。」その基本認識を元に、どのように進めるか、でございます。

かつて、日本最大の城郭都市、即ち、江戸城総構えは、世界に類をみない政治と文化の中心地でありました。皆様、ご存じのように、城郭建築の最高到達点である復元江戸城は1000年以上の超長寿命があるといわれています。同時に、今に残る歴史的建造物群、引いては江戸文化及びそれらを担う人々の主体や活動等に至る文化の再生、即ち、持続可能とする都市、「江戸東京の歴史文化資源を活かした観光まちづくり」こそが、都市東京の新たな価値を創造することになると存じます。

史跡の国宝であり特別史跡皇居東御苑という特別な場所を背景に、どのように道を切り開いていくのか、即ち、次の二つの課題に、新たな視点を検討しつつ取組を進めます。また、調査研究の成果を広く社会一般に公開すると共に、関係機関への提言活動を進めて参ります。

1. 世界的評価に資する学術調査研究による「江戸城全体整備計画の策定」が必須です。これには、行政、民間を含めた参加が必要となります。
2. 文化芸術の振興並びに地域社会へのより一層の貢献を推進するために、公益目的事業として明確にする公益認定の取得が肝要です。

近未来の為に、いま、できることは何か、具体的に何が必要で、何をなすべきか！

何卒、皆様のご参加とご支援を賜りますようお願い申し上げます
壮大なロマン江戸城再生に向けて、いま、ご一緒に進めて行こうではありませんか

2024年(令和6年)3月25日
代表理事 理事長 浅田 豊久

<略 歴>

浅田 豊久

浅田屋伊兵商店株式会社 取締役
一財)比国育英会バギオ基金 代表理事 会長

生年

1942年 金沢生まれ

学歴

1965年 慶応義塾大学法学部法律学科卒

社会活動

1979年(公社)金沢青年会議所 理事長
1980年(公社)日本青年会議所 副会頭
2001年(一社)関東学生アメリカンフットボール連盟 理事長
2007年(公社)日本アメリカンフットボール協会 理事
2007年 国際アメリカンボール協会 世界選手権 川崎大会 実行委員長
2009年(公社)日本アメリカンフットボール協会 代表理事・会長
2016年(公社)日本アメリカンフットボール協会 顧問就任現在に至る
2014年(公財)キープ協会 代表理事・会長 2023年 同上、1月退任

ロータリー歴

1973年 金沢ロータリー入会
1991年 東京西ロータリーへ移籍
2005年 六本木ロータリーへ移籍
2019年 国際ロータリー 第2750地区 ガバナー就任

赤坂料亭組合

1990年 赤坂料亭組合 副組合長就任、2001年 同上離任 現在に至る

一財)江戸東京歴史文化ルネッサンス 正会員

NPO 江戸城再建を目指す会 2005年より18年間 正会員として会費・寄付支援
国際ロータリー東京世界大会出店支援、NPO1000名達成記念会場無償提供等